

国土交通大臣

石井 啓一 様

国の施策等に関する 提案・要望書

(平成30年7月)

鳥取県自治体代表者会議
鳥取県地方分権推進連盟

鳥	取	県	知	事	平	井	伸	治
鳥	取	県	議	会	稲	田	寿	久
鳥	取	県	市	長	深	澤	義	彦
鳥	取	県	市	議	下	村	佳	弘
鳥	取	県	町	村	森	安		保
鳥	取	県	町	村	川	上		守

北東アジアゲートウェイ「境港」への重点配分及び「鳥取港」の機能強化について

《提案・要望の内容》

○国土強靱化を推進する日本海国土軸の形成と地方創生を実現するため、境港ふ頭再編改良事業〔竹内南地区貨客船ターミナル整備〕への重点配分及び鳥取港の機能強化への支援を行うこと。

〔境 港〕

- ・山陰地方の国内海上輸送の効率化や大型クルーズ船の寄港増、大型化に対応するため整備中の竹内南地区貨客船ターミナルの平成32年春供用開始に必要な予算を配分すること。

〔鳥取港〕

- ・長期構想策定及び港湾計画改訂に取り組むとともに、港内静穏度不足及び航路埋そくの課題解決に向けた取組みを進めているが、対策には非常に高度な技術を必要とすることから県と一体となって国も対応すること。

〔境 港〕

<2017ポート・オブ・ザ・イヤー受賞>

水木しげるロード、大漁祭りなど“みなと”を中心とした賑わいづくりやクルーズ船寄港時の「おもてなし」、国際交流拡大など官民一体となった取組みを評価

【竹内南地区貨客船ターミナル整備事業】

(事業概要) 岸壁(-10) 280m、旅客上屋1棟、ふ頭用地 8.3ha
直轄事業：地盤改良、ケーソン製作・据付、上部工（エプロン・舗装）
境港管理組合事業：旅客上屋1棟、ふ頭用地 8.3ha

(進捗状況) 平成30年度迄：地盤改良、ケーソン製作（全16函）完了
平成31年度：ケーソン据付、上部工
平成32年春供用開始見込み

背景① 内航 RORO 船定期航路化による日本海側海上輸送網ミッシングリンクの解消

- ・平成27年度：産学官による「境港流通プラットホーム協議会」設立。
- ・平成28年度～：既存航路を活用（延伸）した内航 RORO 船による試験輸送実施。
- ・平成30年度：6月25日第1回実施、7月23日第2回予定、以降月1回程度。（調整中）

※定期航路化に向け山陽方面へのポートセールス強化、環日本海定期貨客船（DBS クルーズフェリー）と繋ぐ新たな物流ルートの創設など貨物の掘り起しと陸上輸送体制の強化に取り組む中。

背景② クルーズ船受入施設の不足

- ・平成29年：クルーズ船寄港回数 61 回、旅客 6.7 万人（3年連続過去最高更新）
 - ・平成30年：大型クルーズ船（8万t以上）寄港回数 16 回（昨年（29年）の2倍）
- ※貨物船との利用調整に努めるも、調整が整わず昨年は「お断り」が10回程度発生しており、クルーズ船の受入は限界状態。

⇒これらの課題解決には竹内南地区貨客船ターミナルの早期供用開始が必要

〔鳥取港〕

＜圏域の拡大と物流の効率化に期待が高まる鳥取港＞

- ・背後の高速交通網の整備が進む中、平成 27 年 10 月隣県からも集荷した原木が中国向けに輸出開始されるなど鳥取港の圏域が拡大中。
- ・地元企業のバイオマスボイラー導入により、平成 28 年 10 月から PKS 輸入が開始されており物流の効率化に期待が高まっている。

課題① 港内静穏度不足が地域産業に影響

- ・年間をとおした港内静穏度が規定を満たしておらず、特に冬場は他港に荷揚げする貨物船もあり、陸送経費が上乘せとなるロスが発生。
- ・平成 29 年台風 21 号では係留中の沖合底引網漁船が大きく動揺し、船舶・岸壁に損傷が発生し、地域の主要産業である水産業にも影響。

課題② 航路埋そくによる入港制限により企業活動に支障が発生

- ・毎年、冬季風浪、異常気象で航路が埋そく。(年間浚渫経費 8 千万円以上)
- ・平成 29 年台風 18 号、21 号ではメイン航路に約 15 万 m³が堆積し入港制限が発生。
- ・被災直後から浚渫を実施するも水深が確保できず、輸入予定の PKS を他港に約 5 千 t 陸揚する喫水調整が必要となり、他港に陸揚げした約 5 千 t を陸路で鳥取に輸送するロスが発生。

※早急な航路埋そく解消に向け取り組んだ結果、今年 4 月には航路を復旧し 6 月上旬 PKS 輸入が再開されるが、抜本的対策には、長周期波の解析や一級河川千代川からの流砂や日本海沿岸の漂砂の影響評価が必要であり、県だけでは対策に限界がある。

⇒これらの課題解決には国と県の一体的な取組みが必要

境港主要施設



外港昭和南地区

	主要取扱貨物
-14mバース	コンテナ、
-13mバース	木材チップ

江島地区

	主要取扱貨物
-9mバース	原木、石材、
-7.5mバース	セメント

外港昭和南地区

外港昭和北地区

外港昭和北地区

	主要取扱貨物
-9mバース	セメント、原木、
-7.5mバース	重油

外港中野地区

国際旅客ターミナル(仮設)



外港中野地区

	主要取扱貨物
-12mバース	原木

竹内南地区 貨客船ターミナル

外港竹内南地区

外港竹内地区

米子市

呂ヶ浜

安来市

米子鬼太郎空港

松江市八束町

江島大橋
(ベタ踏み坂)

江島地区

受賞!! 「ポート・オブ・ザ・イヤ-2017」

「みなとの元気」を高めた
・急増するクルーズ寄港

・地元園児・芸能による“おもてなし” ・“みなと”を中心とした賑わい創出

急増するクルーズ寄港



大漁祭による賑わい



水木しげるロード大感謝祭



©水木プロ



クルーズ船長と保育園児との交流



地元芸能による おもてなし



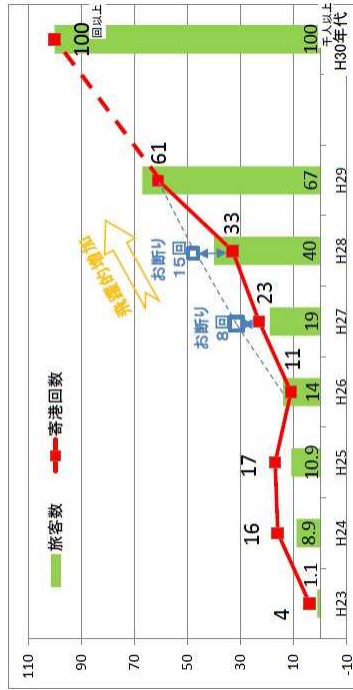
北東アジアゲートウェイ「境港」の機能強化①

日本海側拠点港として、重要度が高まる境港。圏域を中心とした産業競争力強化のため、産学官による【境港流通プラットホーム協議会】を設立し、内航RORO船定期航路化を推進

急増・大型化するクルーズ船寄港



H31年4月初寄港決定【クイーン・エリザベス】

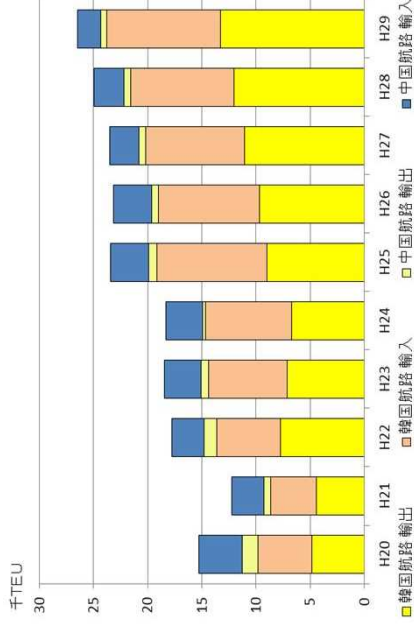


5万t級大型クルーズ船同日2隻寄港など、**昨年**の寄港回数**61回**、旅客数**6.7万人**と3年連続過去最高を更新。

官民のおもてなし

- ・境港らしい岸壁での歓送迎イベント
- ・旅客の嗜好に応じたオプショナルツアーの提案
- ・2次交通の充実に向けたシャトルバス等の支援

増加する外貿コンテナ取扱貨物量

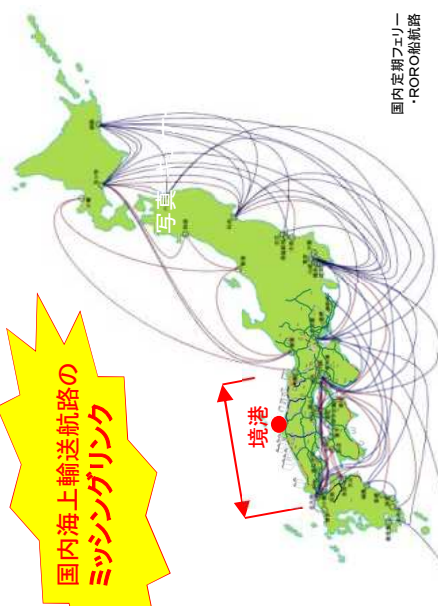


コンテナ取扱貨物量(実入り)は**2万6,497TEU**と、これまで最高だった平成28年の2万4,924TEUを6.3%上回り、**3年連続過去最高**を更新。

国内海上輸送のミッシングリンク解消

ミッシングリンクを解消し、日本海側(九州～境港～北海道)の物流促進と効率化を実現

国内海上輸送航路のミッシングリンク



【RORO船定期航路化による効果】

- 国内海上輸送網のミッシングリンクの解消。
 - 物流の効率化により、中海・央道湖・大山圏域及び中国地方の産業競争力の強化
 - 船舶へのモーダルシフトにより、**ドライバー不足**や**CO2削減**等環境問題に対応。
 - 大規模地震時の海上輸送における**リダンダンジー**を確保。⇒ 国土強靱化
- 【定期航路化への取組み】
 - 日本海側海上輸送網の構築に向け、引き続き**試験輸送を実施し集荷・体制強化**

北東アジアゲートウェイ「境港」の機能強化②



内航RORO船定期航路化に向けた試験輸送

【目的】海上輸送網のミッシングリンクを解消しモーダルシフトによる環境負荷・輸送コストの低減を目指す！

平成27年度 九州方面への試験輸送【SEA & RAIL 一貫輸送】 北九州港－境港

平成28年度 北海道方面・九州(関東)方面へのRORO試験輸送【既存航路活用(延伸)】

境港－敦賀港－苫小牧港、境港－博多港－岩国港－東京港

平成29年度 【国際定期航路と境港で繋ぐ】

平成30年度 月1回程度の内航RORO船試験輸送を実施

H27、28 九州(関東)方面試験輸送



H28 北海道方面試験輸送



H29 国際定期航路との接続輸送



<創荷> 境港をハブとする物流ルートでの試験輸送

・DBSと北海道～九州方面を境港で接続する新たな物流ルートの創出

<集荷> 国内海上輸送体制の構築

・陸上輸送システムの構築(体制整備、シャーシ確保等)
・小口混載海上輸送体制の整備

H30 定期航路化を見据えた取り組み

○年間スケジュールの提示

月1回程度の試験輸送による年間スケジュールの提示による企業の生産計画との調整による集荷。

第1回 6月25日

第2回 7月23日

以降、月1回程度の実施を調整中

○荷の確保に向けた取り組み

- ・地元企業の輸送形態を海上輸送へのシフト促進。
- ・山陽方面のPS強化。
- ・DBSと繋ぐ対岸諸国向け貨物の物流ルートシフト。

新時代を拓く新貨客船ターミナル

境港ふ頭再編改良事業【竹内南地区貨客船ターミナル整備】 事業期間：平成27～31年度

物流・人流の新たな拠点として、我が国唯一のロシアと繋ぐ環日本海貨客船フェリー、国内RORO船、大型クルーズ客船に対応する多機能な新ターミナルを整備中



北東アジアゲートウェイ「境港」の新たな環境整備

新たな玄関口「竹内南地区」

平成32年春供用開始に向け、受入環境整備中！

サイクリングロード整備



みなと温泉
「ほのかみ」

境港さかなセンター



サイクルリスト支援施設整備

官民連携取組

民間取組

飲食施設の充実



物販施設の提供



温泉施設連携



国内物流エリア
観光バス駐車場

国際物流エリア 国内物流エリア

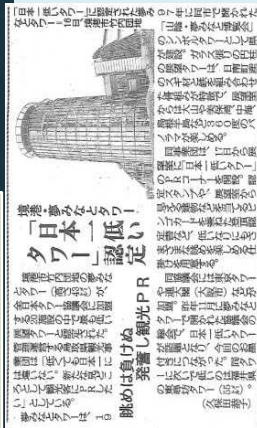
旅客上屋

一般駐車場

受入体制の充実



H29.3.17
日本海新聞



日本一低いタワー―認定―
「夢みなとタワー」

夢みなとタワー（43m）



二次交通の提供



各種イベント開催



魅力的な景観の創出



鳥取港の機能強化①

【港口堆砂対策】 千代航路（メイン航路）への砂の堆積が毎年発生し、貨物船の計画的な利用が困難であり、港湾利用及び企業活動に支障が発生！

毎年、冬季～春季にかけて港口に砂が堆積。航路水深確保に**多額の浚渫経費**が必要。

年間経費 8千万円以上
堆積量 3万m³以上

※平成22～29年度の平均値

産学官で構成する鳥取港利用促進検討会においても、利用者から冬季の貨物船入港ができず改善を求める意見あり。



また、異常気象による堆積により、**急遽、入港制限が発生**。

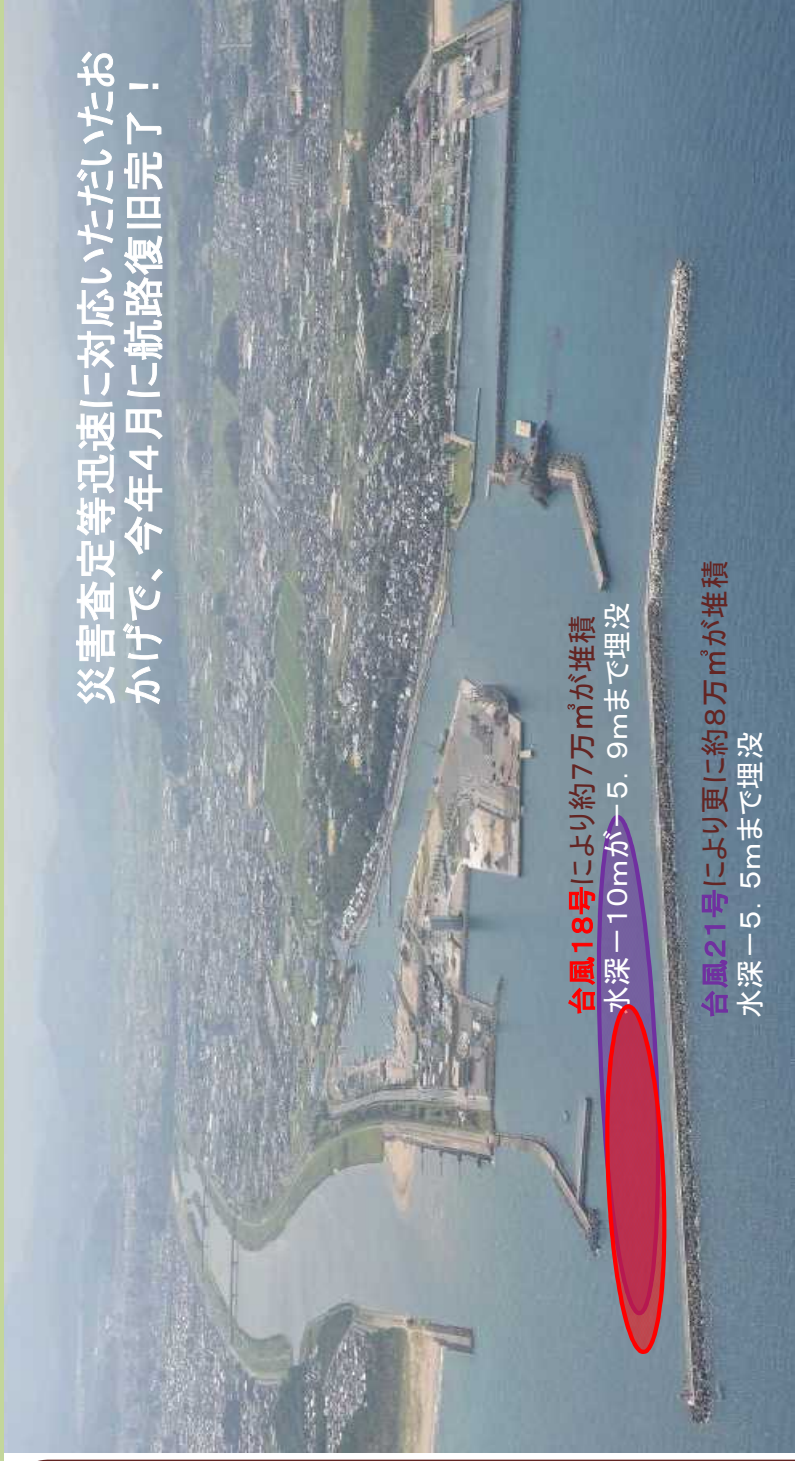
【近年の異常堆積】

平成23年	台風12号	約6万m ³
平成27年	冬季風浪	約7万m ³
平成29年	台風18号	約7万m³
	台風21号	約8万m³
H29災害計		約15万m ³

さらに、港内への流木等の流入により**港湾の利用に支障**が発生。

【近年の流木による泊地埋塞】

平成23年	台風12号	約1千m ³
平成29年	台風18号	約2千m ³



災害査定等迅速に対応いただいたおかげで、今年4月に航路復旧完了！

台風18号により約7万m³が堆積
水深-10mが-5.9mまで埋没

台風21号により更に約8万m³が堆積
水深-5.5mまで埋没

新たな取扱貨物

【PKS輸入】



地元企業による木質バイオマスボイラー燃料用PKSの輸入を開始

(就労誘発効果63名)

平成28年 約3万t

平成29年 約3万t

今年の台風18号による航路埋塞により、急遽、貨物船の喫水調整が必要となり、他港へ約5千m³を陸揚げし鳥取まで陸送。

大きなロスが発生

【原木輸出】



県内のみならず近県から集めた原木を鳥取港を利用して中国へ輸出。

平成28年 約9千トン

平成29年 約8千トン

鳥取港の機能強化②

【港内静穏度の確保】 港内の静穏度が十分に確保されておらず、荷役作業に支障が生じるとともに、係留中の船舶への損傷が発生！

平成29年台風21号通過後の吹き返しによる港内防波堤の越波状況



第8防波堤の越波状況



第5防波堤の越波状況

西浜地区に波高2m以上の波が入射



西浜地区への波の入射状況

港内のうねりによる西浜地区に係留中の沖合底引き船の動揺状況 (H29.10.23)



岸壁への衝突により船舶が損傷
(撮影中にも係留索が破断)



高さ1m以上の動揺



現状の稼働率(計算結果)

岸壁名	稼働率
1号	95.5
2号北	94.5
2号南	96.6
3号	95.2

全貨物の94.7%を扱う主要岸壁の稼働率が97.5%を満たしていない！



【クルーズ船大型化対応】 3年ぶりクルーズ船寄港



H29.10.16 寄港「ぱいぷいっくびいなす」



岸壁での「おもてなし」
地元伝統芸能「傘踊り」

地元から引き続きのクルーズ船寄港が望まれる中、現状では3万t級迄が限界であり誘致活動に制限あり。

産業強化・観光振興拠点 鳥取港の
【静穏度対策】 【航路埋そく対策】
によるストック効果の最大化！

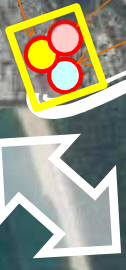
鳥取港 & 鳥取砂丘コナシ空港

ツインポート化による新たな観光・交流拠点の創出

隣接する「鳥取港(マリンピア賀露)」と「鳥取砂丘コナシ空港」を核とした
エリア一帯での周遊性の向上、賑わいの創出により、
消費拡大と地域経済の好循環を加速する。

新たな観光・交流拠点

鳥取港



鳥取砂丘コナシ空港

搭乗者38万人

連絡道路
H30.3.10 供用開始

空の駅
空港ビルリニューアル
(H30.7グランドオープン)



コンセッションの導入による民間活力を活用した、ビジネス機会、賑わいづくり、空港の効率的な管理運営を検討。

「わったいな」85万人/年
(農産物直売所)



マリンピア賀露
年間100万人以上来訪

「かるいち」50万人/年
(海産物市場)



「かにつこ館」26万人/年
(カニが主役の水族館)



鳥取大砂丘

年間130万人が来訪

【ポケモンGO】鳥取砂丘イベント
(3日間で約9万人参加)



「砂の美術館」145万人/年
(全天候型砂像美術館)



【繋がる高規格道路(人流・物流圏域の拡大)】

